

先日、京都府保険医協会の講演会で、電子カルテについて講演する機会がありまし

方から得られた情報はほとんどありません。実は、ある方からこんな話をお聞きしたことがあります。

ホントのことは しゃべられへん?



Dnaides

医療法人祥正会
藤原内科
院内新聞
どないです
第14号
2003/10

た。まだまだ電子カルテを採用している診療所は「くわづかですが、京都大学付属病院も平成16年度の電子カルテ導入を目指しているように、医療界も確実にIT化へ動き出しています。

その講演会で会場から「患者さんの評判はどうですか?」という質問を受けました。

厚生労働省が平成13年12月に発表した「保健医療分野の情報化に向けてのグランドデザイン」を見てもわかるように、電子カル

テには診療を受ける患者さんにも数々のメ

リットがあり、実際に藤原内科に通つておられる方からお褒めを頂いたこともあります。しかし、藤原内科に来られなくなつた

方から得られた情報はほとんどありません。実は、ある方からこんな話をお聞きしたこ

とがあります。

医者の前では

「先生、私の家のすぐご近所の方なんですが、Aさんという方、お見えになりました?」
「はいはい、えーっと、風邪を引かれたときに何度もお見えになりましたが、最近はお見かけしていませんね。」
「実は藤原内科をお勧めしておいたんです。が、この間お会いしたときに『どうだった?』と聞いたたら、『先生が、僕の言ったことを全部カルテに書いていかはるや。それが画面に出るんで、ピックリしたわ。』と。」
「私としては、その方がおっしゃったことが私にちゃんと伝わっているということがわかつて、いいと思っているんですがねえ。」
「それがね、『あんなことされたら、うつかりホントのことをしゃべられへん』とおっしゃるんですよ。」(笑)

これを見たときは、私も思わず笑つてしましましたが、なるほどなあと、考えさせられてしまいました。今までの一般的な

人情報は厳格に管理され、他人に知られるようなことはありません。しかし、あまりにもおおびらに画面で見せられると、何となく、他の人に知られてしまうのでは、という、漠然とした不安を感じるのかも知れませんね。

しかし、厚生労働省の提示したグラン

デザインの中でも謹われているように、これからは患者さん自身が医療機関を選ぶ時代がやってきます。医療機関としては、正しい医療情報の公開と選ばれるための医療の質の向上という切磋琢磨が要求されますが、一方で、患者さんにも「自己責任」という問題ができます。

ただ、高齢の方々はまだまだ「お任せねえ。」

医療を好まれます。患者さんは特に高齢の方)の間で評判がいいという医師の中には、父親が子供に諭すように断定的な言い方をする先生が多いと聞きます。しかしこれからは、医師の方から一方的に「こうしないこと」と言うのではなく、患者さんと医師が、一緒にになって病気のことを考えていくというやり方が主流になつていくはずです。

したがって、自分の言つたことがきちんとカルテに記載されているということは、医師に正しい情報を使えたという証であり、患者さんもそれを確認する必要があります。もし、「ホントのこと(=自分に都合の悪いこと)は言わなかつた」としたら、正確な診断を受けるチャンスをみすみす逃してしまうことにつながる(ある意味では、それは患者さんの責任になる)のだというこ

とを、みなさんにわかつて頂きたいと思い

ハーブティの味や香りは、ブレンドや量、蒸らす時間によって、良くな悪くもなってしまうのです。

だから『ハーブティ?あの薬草みたいなのね?私はダメだわ。』とおっしゃる方もいらっしゃいます。残念ですがそれも仕方ないですね。誰でも好みは違います。でも最近は男性(特に20~30代のサラリーマン)

香りは鼻から入つて脳に伝わります。そして脳が〈あつ、いい香り〉と反応し、それが各アルモン系や神経系に情報として伝えられます。これらは、各ハーブの成分の違いで生理作用や、薬理作用となって、身体に優しく影響を与えてくれるんです。

でもハーブは薬ではないので、即

ハーブティは、ブレンド

や量、蒸らす時間によって、良くな

悪くなってしまうのです。

良い印象を持っている方が悪い印象を持つている方が、印象でほとんど決まりてしまっています。

ハーブティに対する、『じゃあ、ハーブティ、下さい。』でも、何百種類もあるハーブは、その精油成分の違いで香りが異なります。

『珈琲、紅茶、ハーブティ、何がいいですか?』

『じゃあ、ハーブティ、下さい。』

でもハーブティに対しては、良い印象を持っている方が悪い印象を持つている方が、印象でほとんど決まりてしまっています。

ハーブのおいしいお店
ぐりるおうむ亭
瀧田京美
NHK文化センター
「ハーブ専科」講師
ハーブ教室
HerbKitchen 主催
フードコーディネーター

キッチンまま
ハーブティアラブ

きのこ
きのこアラブ



- カモミール、リンテン、スペアミントのブレンド
香りがいいのでとてもリラックスでき、安眠できると思います。
- ウーロン茶、フェンネルシードのブレンド
ちょっと脂肪が気になる方にはお勧めです。
- ネトル、エキナセア、レモングラスのブレンド
風邪や、アレルギーの予防にいいと思います。

各ハーブのティースプーン1杯分を、ティーポットに入れて、お湯をカップ2杯分注ぎ、3分間蒸らして下さい。
おいしいハーブティのできあがりです。お試し下さい。



診察時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後診 5:00~7:00	○	○	/	○	○	/

医療法人祥正会 藤原内科

TEL 075(781)0976 FAX 075(706)3181
〒606-0864 京都市左京区下鴨高木町39の5
e-mail in1021@poh.osaka-med.ac.jp
URL http://web.kyoto-inet.or.jp/people/mf_0618

Design:J.Yasu e-mail:jyasu@emuseum.or.jp URL:http://jyasu.at.infoseek.co.jp

お薬に関するアンケート結果報告

平成15年6月1日から、同年7月31日までの2ヶ月間、藤原内科に通院中で、定期的な投薬を受けていらっしゃる方を対象に、薬剤の後発品（ジェネリック）採用の可否につきアンケートを実施いたしました。ご協力を頂きました82名のみなさまに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



アンケート結果

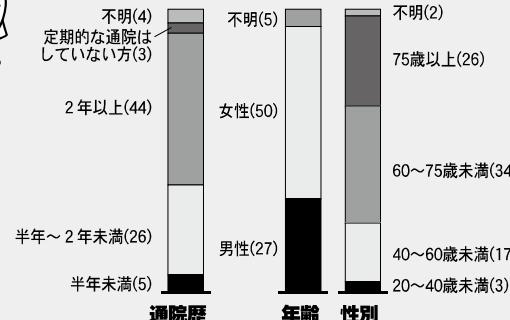


御協力
ありがとうございました

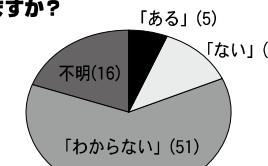
ジェネリックについて、
みなさまがご存じなことを
お聞きしてみました。（複数回答）

- 薬価差益が大きい(20)
- 信頼性に問題がある(12)
- 供給体制に問題がある(10)
- 情報などの伝達に不安(21)

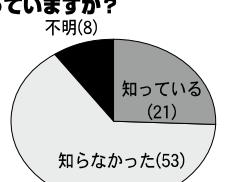
アンケートに回答して頂いた82名の方のプロフィールです。



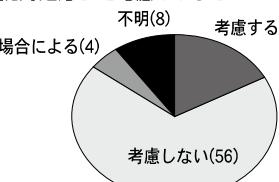
あなたがもらっているお薬
(藤原内科以外のものも含め)の中に、
いわゆるジェネリック（後発品）が
ありますか？



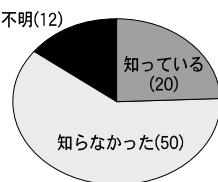
ジェネリックを使うと
薬剤費が安くなるということを
知っていますか？



あなたが受診する医療機関を選ぶとき、
その医療機関が院内処方か、
院外処方かを考慮しますか？



院外処方と院内処方では、
院外処方の方が費用がかかることを
知っていますか？



今回のアンケートの結果、藤原内科は、原則として後発品（ジェネリック）は採用しないという方針になりました。私はこの結果を見てホッとしたというのが本音です。しかし来年の4月には再び診療報酬のマイナス改定が予定され、医業経営はますます苦しくなりますが、藤原内科はできる限り、患者の皆様の意向を尊重するつもりです。みなさまの今後さらなる御支援をお願いする次第です。

院外処方の利点（複数回答）

藤原内科は院内処方ですが、他の医療機関で、院外処方を利用したことがある方に、院外処方の利点をあげていただきました。

- 近くの薬局でもらえる(12)
- 薬剤師さんがよく説明(19)
- 重複投薬を指摘(3)
- 待時間が少なくなった(14)

院外処方の不満（複数回答）

- 二度手間(34)
- 薬の量が多い(5)
- 薬の説明が違う(5)
- もう一度話をし直す(3)
- 院内処方より高くなる(17)
- 時間外で困った(3)
- 健康食品を勧められた(1)

院内処方の不満（複数回答）

院内処方の診療所（藤原内科など）しか行ったことがない方へ
院内処方で、不満に思う点をお尋ねしました。

- 薬をもらうまで長い(3)
- 薬の説明が不十分(3)
- 他と同じお薬が出た(0)
- 薬の量が多い(1)

今年の4月、左京医師会と一緒に理事事をしている某先生から、「先生、フットサル、やらへん？」と誘われた。彼は私よりも数年若く、今もサッカーの社会人リーグのチームで週に1回試合に出ているという。しかし私は来年には50歳という大台に届く、スポーツの世界では立派な年寄りだ。長年サッカーをやってきたが、そろそろ引退をしようかと思っていた矢先のことであった。

フットサルは、サッカーコートよりも小さいし、タックルなど身体的な接触は禁止されていることもあって、最近は若い女性にも愛好家が増えているという。この「若い女性」という言葉に惹かれたわけではないが、理事会で「あーでもない、こーでもない」と難しい議論をするだけではなく、下手くそなりに楽しめるフットサルは下手くそなりに楽しめるフットサ

ルは、いいコミュニケーションの手段になるかも知れないと思い、迷ったけれど思い切って参加することにした。フットサルと聞いてもびんと来ない方もいらっしゃると思うので簡単に説明をしておくと、基本的にはサッカート同じで、足でボールを扱い、敵のゴールにシュートを決める得点ができる。但し、1チームの人数はキーパーを含めて5人。サッカーで一番難しいルールといわれる、オフサイドはない。

コートとゴールは、ハンドボールのコートとゴールぐらいの大きさだ。ボールがサイドラインを割ると、スローイン（手で投げる）ではなく、出た場所からキックで始めるキッチン方式である点が、普通のサッカーと違うところか。あと、スライディングタックル

や、相手の身体に接触するのは禁止されており、サッカーで認められている

ショルダータックルでもダメである。私の大きな誤算であったのは、狭いコートなので走る距離が少なくて良いだろうと思っていた点だ。実はフットサルは、攻守の切り替えがきわめて早いゲームなのである。バスケットのゲームを思い浮かべてもらうとよいかも知れない。シュートがはずれたと思ったら、すぐに（相手の攻撃が始まること）守備に帰らなくてはならないのだ。

私は練習に参加するにあたって、自分なりに朝20分ほどジョギングをしたり、腹筋をしたりして、身体を作りました。でも、最初の練習に参加した次の日は、腰から下の筋肉痛で、ロボットのような歩き方しかできず、職員に馬鹿にされてしまった。

この間の秋分の日に、フットサルのミニ大会が行われた。医師会だけでは

人数が足らないので、某薬剤販売会社の「某病院のリハビリスタッフ」チームや、某病院のリハビリスタッフチームなどにも参加してもらつて、確かな目標ができたので、最近もちょくちょく走っている。来年の7月号の記事を書くまでに、どのくらい減量できているか、今から楽しみである。